

令和2年度 つくば秀英高等学校 経営計画表

1. 学校の現況

(R2・5・1現在)

学校名		つくば秀英高等学校				課 程		全日制		学校長名		石川 英昭	
教頭名		石塚 安喜子				副教頭名		沢辺 卓己		事務長名		坂本 光久	
教職 員数	校長 1	教諭 34	養護 教諭 1	養護助 教諭 1	常勤 講師 8	実習 助手 1	非常勤 講師 22	事務 職員 11	技術員 1	合 計	80		
	生徒数 (学科) 普通科	1 年		2 年		3 年		合 計		クラス数 合計			
男		女	男	女	男	女	男	女					
136		97	173	105	143	117	452	319	23				

2. 目指す学校像

建学の精神（自主・博愛・創造）のもと、国際的研究学園都市つくばにふさわしい、進取の気風あふれる学校。

3. 教育方針

- 1) 〈自主〉 何にでも挑戦しようとする「ワクワクする心」にもとづく人間的強さを育てる。
- 2) 〈博愛〉 教師・生徒すべてが他者の存在を尊重し、一人ひとりを大切にすなかで、生徒の自己肯定感を高める。
- 3) 〈創造〉 プレゼンテーション力を伸ばすなかで、生徒の自己表現力を養う。
- 4) 〈英語の秀英〉 英語力とともに国際的な広い視野を身に付けた生徒を育てる。

4. 中期的目標

創立30周年を見据え、魅力あふれる学校づくりを行うことで、存在感のある進学校を目指す。

5. 今年度の重点目標

- 1) 教員研修に力を入れ、ICTの活用によるアクティブ・ラーニングを取り入れた授業改革を推進する。
- 2) 「温習教育」による個別最適型学習を効率化すべく工夫する。
- 3) 「ICA（国際コミュニケーション活動）」教育による動機づけを軸とし、英語力向上を目指す。
- 4) 部活動を通じて強い心をつくり、何事にも負けない精神力を養う。
- 5) 生徒および保護者とのコミュニケーションを密にし、三者の信頼関係を築く。

令和2年度 つくば秀英高等学校 評価結果表

1. 本年度の重点目標

- 1) 教員研修に力を入れ、ICTの活用によるアクティブ・ラーニングを取り入れた授業改革を推進する。
- 2) 「温習教育」による個別最適型学習を効率化すべく工夫する。
- 3) 「ICA(国際コミュニケーション活動)」教育による動機づけを軸とし、英語力向上を目指す。
- 4) 部活動を通じて強い心をつくり、何事にも負けない精神力を養う。
- 5) 生徒および保護者とのコミュニケーションを密にし、三者の信頼関係を築く。

2. 自己評価の結果に対する学校関係者評価

評価区分	重点目標	自己評価	学校関係者評価※	
校務分掌	教務部	新学習指導要領への対応	3~5	4
		主体的な学びを伸ばすための授業力向上		
		授業および業務におけるICTの積極的活用の推進		
		学校行事の早期計画と精選		
	生徒指導部	初動対応と組織的対応の徹底	4~5	4
		校舎内外の環境整備の徹底		
		制服着こなし指導の徹底		
		行事の精選と活性化		
		いじめ問題への迅速な対応		
		声を上げられない生徒へのフォロー		
	進路指導部	PTA各組織の円滑な運営と活性化	3~5	4
		生徒の進路意識の向上		
		進路指導(大学入試・専門学校・就職)への支援		
		生徒の基礎学力向上に向けた活動への支援		
		ポートフォリオ活用の充実		
	入試広報部	学習活動の支援	4~5	4
志願者数・入学者数の増加を図る				
より多くの成績上位者の獲得を目指す				
学年	第1学年	各種説明会の充実を図る	4~5	4
		学力の向上		
		基本的な生活習慣の確立		
		進路の具体化		
	第2学年	保護者との連携	3~4	4
		学力の向上		
		学園生活の充実		
		進路の具体化		
	第3学年	保護者との連携	5	4
		学力向上		
		進路実現へ向けた協力体制		
		心身共に健康な生活の実現		
	教室環境整備の徹底			

コース	Sコース	学力向上	4~5	4
		国公立大学の合格者増		
		MARCH以上の私立大学の合格者増		
	T/ABコース	基礎学力の定着	4	4
		進路実現を目指したキャリア教育の充実		
	T/ABコース (選抜クラス)	学力の定着	4~5	4
		進路実現を目指したキャリア教育の充実		
		国公立大学、日東駒専への合格を目指す		
	スポーツ コース	特色を活かした授業の充実	4	4
		スポーツを通じた地域社会への貢献		
教科	国語科	新テストへの教員間の情報共有	3~5	4
		思考・論述力の強化		
		多角的視野の育成		
		ICT導入		
	地歴・ 公民科	成績の向上	3~5	4
		社会人としての資質の向上		
		教員研修の充実		
	数学科	成績の向上(1)	4~5	4
		成績の向上(2)		
		課題解決能力の育成		
	理科	学力の向上(1)	4~5	4
		学力の向上(2)		
	英語科	成績の向上	3~4	4
		英検合格率アップ		
		言語活動を増やす		
英語の秀英	英語学習へのモチベーションアップ	4	4	
保健体育	身体的、精神的に健康な体作り	4	4	
芸術科	感性を磨き、豊かな心の育成	4	4	
情報科	学力の3要素を基盤とした素養の育成	4	4	
	パソコン検定合格率アップ			
	プレゼンテーション能力の向上			
	ポートフォリオの蓄積への協力			

※本校の教育活動に関する意見交換により得られた自己評価の結果についての評価である。

評価基準


5:十分適正である 4:適正である 3:概ね適正である 2:やや適正に欠ける 1:適正でない

令和2年度 つくば秀英高等学校 第三者評価結果表

	評価事項		評価
1	本校の教育理念の実践について		⑤: 十分適正である 4: 適正である 3: 概ね適正である 2: やや適正に欠ける 1: 適正でない
2	当年度の教育目標に対する取組とその成果について (主に授業、生徒指導、進路指導、部活動等の状況を中心に)	校務分掌	⑤: 十分適正である 4: 適正である 3: 概ね適正である 2: やや適正に欠ける 1: 適正でない
		学年	⑤: 十分適正である ④: 適正である 3: 概ね適正である 2: やや適正に欠ける 1: 適正でない
		コース	⑤: 十分適正である ④: 適正である 3: 概ね適正である 2: やや適正に欠ける 1: 適正でない
		教科	⑤: 十分適正である ④: 適正である 3: 概ね適正である 2: やや適正に欠ける 1: 適正でない
3	当年度の課題と今後の方策について		⑤: 十分適正である 4: 適正である 3: 概ね適正である 2: やや適正に欠ける 1: 適正でない
4	本校の組織運営について		⑤: 十分適正である 4: 適正である 3: 概ね適正である 2: やや適正に欠ける 1: 適正でない

(評価者の意見等)

コロナ禍の中において、ICTを活用した学びの工夫は評価に値するものがある。本年度の取り組みの成果が、令和3年度の入学者増につながったものと思う。国立をはじめとする難関大学への合格者も増えており、今後が楽しみである。

つくば市
 島名地区まちづくり協議会 会長 鈴木 潤 

※上記は自己評価結果や学校関係者評価の実施状況を踏まえて、本校の学校運営の状況について評価したものである。